

*The Japanese  
Society of  
Toxicology*

**Vol. 46 No. 1  
February 2021**

# 毒性学ニュース

*Toxicology News*

一般社団法人日本毒性学会

The Japanese Society of Toxicology

## 毒性学ニュース

### Contents

---

日本毒性学会からのお知らせ

第 48 回日本毒性学会学術年会のご案内（第 4 報） .....	1
日本毒性学会教育委員会からのお知らせ（第 3 報） .....	5
第 47 回日本毒性学会学術年会要旨集の販売について .....	7
社員総会開催のご案内と出欠票（委任状）提出のお願い .....	8

その他のお知らせ

日本薬物動態学会第 36 回年会 .....	9
------------------------	---

一般社団法人日本毒性学会の定款および規程類について

---

## 第 48 回日本毒性学会学術年会のご案内 (第 4 報)

(年会ホームページ: <http://www.jsot2021.jp/>)

### 1. 会 期

2021 年 7 月 7 日 (水) ~ 7 月 9 日 (金)

この度の新型コロナウイルス感染拡大の影響により、学術年会の開催については慎重に検討させていただきました結果、「ハイブリッド開催」にて学術発表・展示会を実施することいたしました。

皆様には、開催方法変更によりお手数をおかけいたしますが、ご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

### 2. 会 場

神戸国際会議場  
〒 650-0046 神戸市中央区港島中町 6-9-1  
TEL : 078-302-5200  
URL : <https://kobe-cc.jp/ja/facilities/conference-center/>

### 3. テー マ

Beyond the crisis - 生命の存続に貢献する毒性学

### 4. 年 会 長

福井 英夫 (Axcelead Drug Discovery Partners, Inc.)

### 5. 企画委員 (敬称略・五十音順)

朝倉 省二 (エーザイ (株))  
石塚真由美 (北海道大学)  
小川久美子 (国立医薬品食品衛生研究所)  
小椋 康光 (千葉大学)  
鍛冶 利幸 (東京理科大学)  
菅野 純 (国立医薬品食品衛生研究所)  
北嶋 聡 (国立医薬品食品衛生研究所)  
熊谷 嘉人 (筑波大学)  
小林 章男 (日本たばこ (株))  
佐藤 雅彦 (愛知学院大学)  
篠澤 忠紘 (武田薬品工業 (株))  
渋谷 淳 (東京農工大学)  
杉山 圭一 (国立医薬品食品衛生研究所)  
鈴木 睦 (協和キリン (株))  
角 大悟 (徳島文理大学)  
高橋 祐次 (国立医薬品食品衛生研究所)  
角崎 英志 (新日本科学 (株))  
直田みゆき (医薬品医療機器総合機構)  
栗形麻樹子 (国立医薬品食品衛生研究所)  
広瀬 明彦 (国立医薬品食品衛生研究所)  
堀井 郁夫 (ファイザー)  
真木 一茂 (医薬品医療機器総合機構)  
松本 清 (武田薬品工業 (株))  
三島 雅之 (中外製薬 (株))  
宮脇 出 (大日本住友製薬 (株))

森 和彦 (第一三共 (株))  
山田 久陽 (大正製薬 (株))  
吉岡 靖雄 (大阪大学)  
吉成 浩一 (静岡県立大学)

### 6. 特別企画 (予定, 敬称略, 順不同)

- 1) 第 18 回市民公開セミナー  
日時: 2021 年 7 月 10 日 (土) 午後 (予定)  
会場: 神戸芸術センター  
(1) 西田 幸二 (大阪大学)  
(2) 木下 芳一 (姫路循環器病センター)
- 2) 年会長招待講演  
西田 幸二 (大阪大学)
- 3) 特別講演  
(1) 柳沢 正史 (筑波大学)  
(2) Kenneth Hastings (元 FDA, US consultant)  
(3) Nasir Khan (Pfizer, USA)
- 4) 教育講演  
(1) 武部 貴則 (東京医科歯科大学)  
(2) 児玉 龍彦 (東京大学)  
(3) 瀬谷 司 (青森大学, 北海道大学)  
(4) 武田 厚司 (静岡県立大学)  
(5) 真鍋 淳 (第一三共 (株))  
(6) David Woolley (ForthTox, Consultant, UK)
- 5) シンポジウム (30 セッション)
  - ・基礎発生学と先天異常学から学ぶ毒性エビジェネティクス 2.0
  - ・日本実験動物学会合同シンポジウム: 毒性研究におけるヒト化動物の利用
  - ・毒性機序の理解とリスク評価へ向けた化学物質センサー転写因子研究
  - ・パンデミック感染症に対する医薬品の非臨床安全性評価 (COVID-19 から学ぶ)
  - ・生体金属部会シンポジウム ~メタロチオネイン機能の新たな展開~
  - ・実験動物としてのサルを考える - バイオ医薬品の種差とヒト予測 -
  - ・薬剤性痙攣のリスク評価
  - ・遺伝毒性リスク評価の新たな胎動 - ゲノム不安定リスク研究の夜明け -
  - ・遺伝子治療用製品の安全性評価と今後の展望
  - ・感染症の予防と治療における生殖発生毒性
  - ・化学物質の安全性評価にかかわる AI とインフォマティクス
  - ・ヒト ES 細胞/iPS 細胞を用いた毒性データベ

#### スによる毒性評価

- ・腎毒性を考える～臨床薬剤師，基礎研究の立場から～
  - ・日本毒性病理学会合同シンポジウム：毒性病理学会からのトピック－化学物質の安全性評価に向けた機序解明アプローチ
  - ・子供の毒性学：脳の発達を中心に
  - ・2035年の医薬品安全性評価－動物実験代替法を考える
  - ・事例報告“非臨床で見られた毒性の臨床への予測性”
  - ・薬物誘発性の心機能変化に向けた in vivo 安全性評価戦略に関する新展開
  - ・医薬品における Computational Toxicology の普及：Ontology 思考下でのシステム構築の事例報告
  - ・日本癌学会合同シンポジウム：発がん性評価法の分子背景と展望－エピゲノム，変異シグネチャーから見たヒト外挿考察－
  - ・世界を取り巻く農薬リスク評価の最新事情
  - ・xenobiotics 代謝と解毒の動物種差
  - ・日本免疫毒性学会合同シンポジウム：多様な医薬品モダリティに対応する免疫毒性研究の最前線
  - ・日本中毒学会合同シンポジウム：吸入剤による中毒の基礎と臨床
  - ・次世代研究セミナー：マイクロバイオームと毒性学
  - ・再生医療等製品に関する毒性評価
  - ・肺毒性の分子背景
  - ・毒性オミクスにおけるエピジェネティクス情報を加えた人工知能解析
  - ・SOT 合同シンポジウム
  - ・American College of Toxicology 合同シンポジウム
- 6) ワークショップ (6セッション)
- ・消化管毒性評価の新展開
  - ・トキシコロジストがんサバイバーからの抗がん剤治療報告
  - ・癌薬物療法における薬剤性副作用のサイエンスと支持療法
  - ・新毒性質問箱：医薬品開発者と PMDA で対話をはじめよう
  - ・限定エクスポソームの新たな展開
  - ・GLP 業務の「New normal」の展望
- 7) トキシコロジストのキャリア形成支援プログラム－AI-Powered トキシコロジストを目指して－

#### 7. 一般演題募集

- 1) 一般演題（口演およびポスターでの発表）を募集します。  
主発表者（プレゼンター）は本学会会員に限りませんので非会員の方は、日本毒性学会事務局にて入会の手続きをお願いします。  
日本毒性学会ホームページ：http://www.jsot.jp  
なお、ポスターとスライド作成は、原則英語となります。（口頭発表及び討論は日本語で構いません。英語による発表・議論も可です）
- 2) 演題登録はインターネットを利用したオンライン登録のみです。下記8に記載する「演題登録要領」を参照の上、年会ホームページから登録して下さい。

#### 演題申込締切日：

2021年3月5日（金）

- 3) 一般演題は口演またはポスター発表とします。  
口演発表につきましては、発表と討論の時間を合わせて10～15分程度を予定しています。詳細は、演題申込数を考慮の上、決まり次第主発表者へE-mailにてお知らせいたします。発表方法は、現地もしくはWeb会議システムを利用したライブでの発表となります。  
ポスター発表は、現地でのポスターパネルへの掲示は行わず、e-ポスターによる期限を決めた閲覧型式として行う予定です。
- 4) 優秀研究発表賞応募演題  
2021年3月31日時点で35歳以下の方を対象として候補者を募集します。  
応募者は演題申込時にその旨登録して下さい。  
応募者はe-ポスター発表に加え、現地もしくはWeb会議システムを利用したライブでの口頭発表と質疑応答を第1日目(7月7日(水))に行っていただきます。受賞者の発表は、第3日目に行う予定です。受賞者には、賞状と副賞を授与します。
- 5) 学生ポスター発表賞応募演題  
学術年会(2021年7月7日(水))の時点で学生(大学院生を含む、ただし社会人大学院生は除く)のポスター発表(筆頭著者)の方を対象とします。  
応募者は演題申込時にその旨登録して下さい。審査はポスター発表内容のみで行います。(メールによる質疑を含む。)対象のポスターは、e-ポスター掲載を行っていただきます。受賞者の発表は、第3日目に行う予定です。受賞者には、

賞状と副賞を授与します。

なお、今回応募者には、学術年会発表時のポスター原稿を、電子媒体として発表の1週間前にご提出いただき、事前審査を行います（e-ポスターによる事前審査）。ご了承下さい。詳細は発表者へメールにてご案内いたします。

※上記、4)、5)の賞への重複申請は不可とします。

## 8. 演題登録要領

演題登録はインターネットを利用したオンライン登録のみです。締め切り間際はアクセス集中によりサーバー処理能力が極端に低下します。そのため、登録に時間を要する、あるいは登録が完了できないといった事態が生じることが予測されますので、演題募集要領と年会ホームページを熟読した上で、余裕をもって登録して下さい。

### ◆登録方法ならびに登録確認・訂正◆

年会ホームページにアクセスし、演題募集のメニューより案内に従って、次の流れのように登録を進めて下さい。なお、演題登録は発表者本人が行って下さい。発表者個人情報登録→一般演題登録→共著者・演題情報登録→登録内容確認→登録完了

#### 1) 発表者個人情報登録

発表者は本学会会員に限ります。登録には会員番号（5桁）が必要です。パスワード（半角英数）は登録内容の確認や変更を行うときに使用します。4文字以上10文字以内で入力して下さい。なお、パスワードはメニューページの「パスワードを変更する」より変更することが可能です。入力したパスワードは各自で大切に記録・保管して下さい。

#### 2) 共著者・演題情報登録

##### 2-1) 共著者情報登録

共著者の氏名・所属を入力して下さい。共著者数は最大20名、所属機関名は最大15施設まで登録可能です。

##### 2-2) 演題カテゴリー登録

詳細については、年会ホームページをご確認下さい。

##### 2-3) 発表形式

発表形式を「口演」、「ポスター」、「どちらでも可」の中から選択して下さい。優秀研究発表賞もしくは学生ポスター発表賞に応募する場合は「ポスター」を選択して下さい。

優秀研究発表賞もしくは学生ポスター発表賞への応募の有無を選択して下さい。

#### 2-4) 演題名

文字数について、登録ページの入力欄には、文字数制限がありません。下記を目処にお願いします。

日本語演題名 文字数：

最大全角80文字（スペース含め）

英語演題名 文字数：

最大半角200文字（スペース含め）

なお、演題名に特殊文字／上付き／下付き／ボールド／イタリックなどの文字を含む場合には、下記ページのHTMLタグを使用し、入力して下さい。

ただし、このHTMLタグは、上記文字数にはカウントしません。

〈タグ一覧／特殊文字一覧／よく使用する特殊文字ページ〉

[http://www.senkyo.co.jp/tag/ja/tag\\_list.html](http://www.senkyo.co.jp/tag/ja/tag_list.html)

#### 2-5) 要旨作成要領

日本語及び英語の要旨のご提出をお願いしております。本文の文字数は、要旨本文が日本語の場合、日本語：全角として800字以内、英語：半角として600字以内、要旨本文が英語のみの場合、半角1600字以内（スペース含む）です。上記文字数を超えると登録できませんので、ご注意ください。本文中に演題名・所属・氏名・図表等を入れないで下さい。

#### 2-6) 利益相反

年会ホームページの演題募集のページにてCOI規程をご確認の上、演題登録時にCOIの有無を選択して下さい。

#### 3) 登録内容確認・訂正

登録の最後に登録情報の確認画面が表示されますので、内容を確認・訂正して下さい。後日改めて確認・訂正を行う場合は、登録時に入力したパスワードを用いて確認・訂正画面を表示させることができます。

#### 4) 登録完了

登録が完了すると演題登録番号が表示されます。登録したメールアドレス宛てに演題登録完了メールが送信されますので確認して下さい。翌日まで経過してもメールが届かない場合は事務局までご連絡下さい。

## 9. 参加登録および参加費

事前参加申込締切日：

2021年5月10日（月）

### 1) 参加費

※学会会員の参加費は「不課税」、関連学会会員、非会員の参加費と懇親会費は「課税（消費税込）」となります。

カテゴリー	事前参加登録 (早期)*1	事前参加登録 (後期)*2	当日参加登録
会員	12,000円	14,000円	16,000円
学生会員	3,000円	4,000円	5,000円
関連学会会員*3	13,000円	15,000円	17,000円
非会員	15,000円	17,000円	19,000円

\* 1 2021年3月31日（水）まで

\* 2 2021年4月1日（木）から5月10日（月）まで

\* 3 次の学会会員の方です。（50音順）

共催：日本中毒学会  
日本毒性病理学会  
日本免疫毒性学会  
日本薬理学会  
米国 SOT (Society of Toxicology)

協賛：日本安全性薬理研究会  
日本医薬品情報学会  
日本衛生学会  
日本環境変異原ゲノム学会  
日本産業衛生学会  
日本実験動物学会  
日本獣医学会  
日本食品衛生学会  
日本食品化学学会  
日本先天異常学会  
日本動物実験代替法学会  
環境ホルモン学会(日本内分泌攪乱化学物質学会)  
比較眼科学会  
日本薬学会  
日本薬物動態学会

### 2) お支払い方法

・クレジットカード

※決済等の詳細については、年会ホームページをご確認下さい。

※年会参加費には、下記が含まれます。

- ・領収証（参加費お支払い完了後にメニューページよりダウンロード可能になります）
  - ・参加証明証（会期後にメニューページよりダウンロード可能になる予定です）
  - ・年会プログラム要旨集（PDF）
- ※冊子体は希望者のみ配布いたします。

## 10. 懇親会

中止となりました。

## 11. 展示、ランチョンセミナーなどの募集

展示、ランチョンセミナー、広告掲載を募集します。詳細については年会ホームページをご覧ください。

## 12. 年会事務局

〒251-0012 神奈川県藤沢市村岡東二丁目26番地の1  
Axcelead Drug Discovery Partners 株式会社  
事務局長：大塚 博比古  
事務局次長：吉田 唯真, 林 良太  
E-mail：secretariat@jsot2021.jp



## 日本毒性学会教育委員会からのお知らせ（第3報）

教育委員会の各種事業は下記の要領で実施する予定です。詳細は決まり次第、学会ホームページおよび毒性学ニュースでお知らせします。

なお、学会主催講習会は、トキシコロジーに関する知識（基礎知識）を幅広く学習する基礎教育講習会とトキシコロジストとしての知識をアップデート・ブラッシュアップする生涯教育講習会として位置付けすることを基本方針として開催いたします。

### 「第24回日本毒性学会基礎教育講習会」

本講習会はトキシコロジストの系統的な基礎教育あるいは再教育を目的としております。また、トキシコロジー全般にわたる理解を深めたうえで、日本毒性学会認定トキシコロジスト認定試験受験にお役立て下さい。講習は動画配信形式で行います。受講者の皆様には4月中旬にダウンロード方法をご案内いたします。

#### 1. 日時

2021年4月下旬～認定トキシコロジスト試験前まで

#### 2. 形式

WEB開催

#### 3. 申込

##### 1) 申込期間

2020年12月18日(金)～2021年3月12日(金)

##### 2) 申込方法

当学会ホームページよりお申込下さい。

登録後、5日以内に次項の要領で受講料を納入下さい。

受講料入金の確認後、追って受講案内をお送りします。

##### 3) 納入方法

ホームページよりお申込の上、下記銀行口座へお振込み下さい。

銀行：みずほ銀行

支店：麴町支店 (021)

口座番号：普通 1348658

口座名義：一般社団法人日本毒性学会

\*振込手数料はご負担ください。

\*ご所属名でお振込みの際は、事務局までメールで受講者氏名(会員の方は会員番号)、所属、振込日、振込金額をご連絡下さい。

#### 4) 受講料

一般会員：25,000円 学生会員：5,000円

非会員：30,000円 学生非会員：8,000円

認定トキシコロジスト：20,000円

\*領収書につきましては、参加証と一緒に送付いたします。宛名のご指定がある場合は、申込時に入力下さい。

\*キャンセルに伴う返金に関しては、講習会資料事前案内前に限り、対応します。事務局から案内後は納入済み受講料の返金は原則としていたしませんのでご了承下さい。

#### 5) その他

\*受講修了者には受講証明書を発行します。また、学生受講者(大学院生を含む)は出欠を確認したうえで受講認定証を発行いたします。

### 「第22回日本毒性学会生涯教育講習会」

本講習会では、学習フレームを、①トピック、②トキシコロジスト・ブラッシュアップセミナーとして実施しております。本年も同様のフレームで開催を予定しておりますので、是非、積極的なご参加をお待ちしております。

トピックスは、SOTの学術年会時に開催される教育コースから、2つのテーマを選び、新しい科学及び技術に関する最新のトピックスを学習する場としていきます。トキシコロジスト・ブラッシュアップセミナーでは、各種毒性反応について基礎メカニズムから社会的に最新の毒性学の話題を含め深く学習する場としていきます。また、学習テーマに関連する共通知識として「非病理学者のための病理学講義」をセミナーに組み入れていきます。講習会資料はダウンロード形式としております。受講者の皆様には6月中旬にダウンロード方法をご案内いたします。

#### 1. 日時

2021年7月10日(土)

## 2. 形式

WEB 開催

## 3. プログラム (仮)

## 1) SOT2021 報告:

9:00 ~ 9:45

田邊 思帆里 先生 (国立医薬品食品衛生研究所)  
 「Guidelines for Developing and Implementing  
 Organ-on-a-Chip/Microphysiological Systems  
 for Toxicity Evaluation of Drug Candidates in  
 Drug Development」

9:45 ~ 10:30

吉川 理恵 先生  
 (Novartis Institutes for BioMedical Research)  
 「Navigating New Modalities: A Preclinical  
 Roadmap for Developing Novel Oligonucleotide  
 Safety Strategy」

(昼休憩 10:30 ~ 10:40)

2) トキシコロジスト・ブラッシュアップセミナー:  
“感染・免疫機能”

10:40 ~ 11:30

真木 一茂 先生  
 (独立行政法人 医薬品医療機器総合機構)  
 「ワクチン安全性評価の基礎と課題 (仮)」

11:30 ~ 12:20

高橋 享子 先生 (武庫川女子大学)  
 「食物アレルギーの解説 (種類・メカニズム・  
 検査法・臨床・治療) (仮)」

(休 憩 12:20 ~ 13:30)

13:30 ~ 14:20

小池 英子 先生  
 (国立研究開発法人 国立環境研究所)  
 「環境 (仮)」

14:20 ~ 15:20

今岡 尚子 先生 (第一三共株式会社)  
 「非病理学者のための病理学講義 - 免疫系の構  
 造と毒性変化 (仮)」

## 4. 参加費 (1日フルコースとして設定) (予定)

事前申込

会 員	5,000 円
非会員	7,000 円
認定トキシコロジスト	3,000 円

## 「第24回日本毒性学会認定トキシコロジスト認定試験」

我が国の安全性試験の信頼性向上とトキシコロジーの進歩に寄与するため、質の高い専門家を認定するための試験です。受験資格の詳細については、毒性学ニュース及び学会ホームページの『一般社団法人日本毒性学会認定トキシコロジストの認定制度規程』をご覧ください。日本語・英語いずれかの受験になります。英語受験を希望する場合は、願書の英語受験希望欄にチェックを入れてください。

## 1. 日 時 (予定)

2021年9月26日(日) / 予備日10月3日(日)

台風等の自然災害により9月26日に試験開催が困難であると判断した場合に、予備日に実施します。なお、試験開催を延期する場合には、2日前(9月24日17時)までに受験者へご連絡いたします。

## 2. 会 場 (予定)

昭和大学 旗の台キャンパス

## 3. 受験料 (予定)

30,000 円

## 「認定トキシコロジスト資格の更新」

2001年、2006年、2011年、2016年に認定トキシコロジストに認定された方となります。毒性学ニュース、学会ホームページの『一般社団法人日本毒性学会認定トキシコロジストの認定資格更新に関する細則』をご覧ください。

## 「認定トキシコロジスト試験問題作成依頼について」

資格更新のための試験問題作成の依頼は6月上旬、締め切りは8月中旬を予定しています。なお、可能な限り、2018年5月発刊の「第3版トキシコロジー」からの出題をお願いいたします。その他、詳細につきましては、2021年6月にご案内いたします。



## 第 47 回日本毒性学会学術年会要旨集の販売について

第 47 回日本毒性学会学術年会の要旨集を 1 部 3,500 円（税・送料込）で販売します。ご希望の方は郵便局に備付けの郵便振替用紙に必要事項をご記入の上、下記口座までお振り込み下さい。ご納入確認後、要旨集を発送致します。

なお、学術年会（第 32 回以降）の要旨はオンライン（J-STAGE）でも閲覧が可能です（<http://www.jstage.jst.go.jp/browse/toxp/-char/ja>）。

振込先：口座番号	00150-9-426831
加入者名	一般社団法人日本毒性学会
要旨集価格	3,500 円（1 部）

通信欄記入事項：①住所 ②氏名（団体の場合は機関名・部署等）③電話番号  
④第 47 回学術年会要旨集希望の旨

※通信欄のご記入住所へ送本致します。詳細なご記入をお願い致します。

問い合わせ先：日本毒性学会事務局  
〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1  
パレスサイドビル  
株式会社毎日学術フォーラム内  
TEL：03-6267-4550 FAX：03-6267-4555  
E-mail：jsothq@jsot.jp

## 社員総会開催のご案内と出欠票（委任状）提出のお願い

一般社団法人 日本毒性学会  
社員（一般会員及び学生会員）各位

平素より日本毒性学会の活動、運営にご協力を賜り御礼申し上げます。

定款第4章に定められておりますように「社員総会」を、2021年学術年会期間中に開催いたします。ご承知のとおり、本学会は2014年（平成26年）5月1日に一般社団法人となり、重要な案件は社員総会で決定されます。第48回日本毒性学会学術年会はハイブリッドで開催される運びとなりましたが、社員（一般会員及び学生会員）各位におかれましては、現地またはWebにてご出席賜りますようご案内申し上げます。社員総会の詳細につきましては、メール等にてご連絡させていただきます。

また、ご出席・ご欠席に係わらず「出欠票（委任状）」を、電磁的総会出欠（委任状）回答システムにより事前にご提出下さい。なお、本委任状回答システムへの入力のご案内は2021年4月以降にメール等にてご連絡させていただきます。

社員総会の決議には、定款第24条に定められておりますように、総社員（一般会員及び学生会員）の議決権の「過半数」を有する社員の出席が必要です。定足数に満たない場合は社員総会として成立しなくなり、重要な議決事項が決定できず、本学会の運営に大きな支障を来すことになります。社員総会に欠席される場合には、必ず委任状をご提出されますよう、重ねてお願い申し上げます。

また、お近くの会員の方に、社員総会へのご参加または委任状の提出をお勧めくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

2021年2月  
一般社団法人日本毒性学会  
理事長 菅野 純

## その他のお知らせ

### 日本薬物動態学会第36回年会

会期 2021年11月16日(火)～19日(金)  
 ※11/16 第14回ショートコース閉会後に開始  
 会場 Gメッセ群馬  
 〒370-0044 群馬県高崎市岩押町12番24号  
 年会長 荻原 琢男 (高崎健康福祉大学大学院薬学研究科)  
 実行委員長 中西 猛夫 (高崎健康福祉大学薬学部)  
 テーマ ポストコロナ時代のJSSXの新たな挑戦  
 主催 一般社団法人 日本薬物動態学会

#### 主な予定プログラム

特別講演, 会長講演, シンポジウム, 一般口演,  
 ポスター発表, ランチョンセミナー  
 一般演題募集: 2021年5月受付開始予定  
 事前参加登録: 2021年6月受付開始予定

年会ホームページ <https://jssx36.org/>

#### 年会事務局

〒370-0033 群馬県高崎市中大類町60  
 高崎健康福祉大学薬学部 生物薬剤学研究室内  
 担当: 箱田  
 TEL: 027-352-1180 (内線 8311) / FAX: 027-352-1118  
 E-mail: edu-jssx36@takasaki-u.ac.jp

#### 運営事務局

〒104-8464 東京都中央区八重洲2-7-15  
 株式会社メディセオ 学会支援部  
 担当: 正木, 三草  
 TEL: 03-3517-5519 / FAX: 03-3517-5186  
 E-mail: 041089masaki@mediceo-gp.com

## 一般社団法人日本毒性学会の定款および規程類について

日本毒性学会の定款および規程類については、最新版が学会ホームページ ([http://www.jsot.jp/about/rule\\_list.html](http://www.jsot.jp/about/rule_list.html)) に掲載されています。

特に重要な変更があった場合は、毒性学ニュースで周知を図ることとします。

- 一般社団法人日本毒性学会 定款
- 一般社団法人日本毒性学会 評議員選出規程
- 一般社団法人日本毒性学会 理事・監事選出規程
- 一般社団法人日本毒性学会 理事および監事候補の選出に関する細則
- 一般社団法人日本毒性学会 常置委員会共通規程
- 一般社団法人日本毒性学会 名誉会員・功労会員推薦規程
- 一般社団法人日本毒性学会 入会規程
- 一般社団法人日本毒性学会 賛助会員に関する規程
- 一般社団法人日本毒性学会 学会賞選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 特別賞選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 佐藤哲男賞（国際貢献賞）選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 学会貢献賞選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 奨励賞選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 技術賞選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 田邊賞選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 ファイザー賞選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 日化協 LRI 賞選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 認定トキシコロジストの認定制度規程
- 一般社団法人日本毒性学会 認定トキシコロジストの資格更新に関する細則
- 一般社団法人日本毒性学会 名誉トキシコロジスト表彰に関する細則
- 一般社団法人日本毒性学会 米国毒性学会教育コースへの学会員派遣に関する規程
- J. Toxicol. Sci. 投稿規程
- Fundam. Toxicol. Sci. 投稿規程
- 一般社団法人日本毒性学会 動物実験に関する指針
- 一般社団法人日本毒性学会 個人情報の適正な管理・利用等に関する基本方針
- 一般社団法人日本毒性学会 部会に関する規程

# 新しい発見を 変わらない品質で

私たち日本クレアは、生命のあらゆる可能性を探求し発展させる基盤として、動物愛護のグローバルな視点に立った世界最高品質の実験動物を提供して参ります。



## マウス・ラット・マーモセット

### ● クローズドコロニー

- マウス** Jcl:ICR
- ラット** Jcl:SD, Jcl:Wistar  
Br/Han:WIST@Jcl(GALAS)

### ● 近交種

- マウス** C3H/HeNjcl, C3H/HeJjcl\*  
C57BL/6Njcl, C57BL/6Jjcl\*  
BALB/cAjcl, BALB/cByJjcl\*  
FVB/Njcl, DBA/2Jjcl\*, 129<sup>+Ter</sup>/Svjcl
- ラット** F344/Jcl

### ● ハイブリッド系

- マウス** B6C3F1/Jcl, B6D2F1/Jcl  
MCH(ICR)/Jcl (Multi Cross Hybrid)

### ● 疾患モデル

#### 免疫不全モデル

- マウス** BALB/cAjcl-*nu*  
C.B-17/ICr-*scid* Jcl  
NOD/Shijic-*scid* Jcl  
ALY<sup>®</sup>/NscJcl-*aly*

- ラット** F344/Njcl-*rnu*

#### 1型糖尿病モデル

- マウス** NOD/Shijcl

#### 2型糖尿病モデル

- マウス** KK/Tajcl, KK-A<sup>y</sup>/Tajcl  
BKS.Cg-*m*+/*Lepr<sup>db</sup>*/Jcl\*

- ラット** GK/Jcl, SDT/Jcl, SDT fatty/Jcl

#### アスコルビン酸合成能欠如モデル

- ラット** ODS/Shijcl-*od*

### ● 疾患モデル

#### 網膜変性疾患モデル

- ラット** RCS/Jcl-*rdy*

#### 関節リウマチモデル

- マウス** SKG/Jcl

#### 外用保湿剤・外用殺菌消毒薬効果検証モデル

- マウス** NOA/Jcl

### ● 遺伝子改変動物

#### 短期発ガン性試験モデル

- マウス** CByB6F1-Tg (HRAS)2Jic

#### 乳腺がん高感受性モデル

- ラット** Hras128/Jcl

#### 脾がん短期発ガンモデル

- ラット** Kras301/Jcl

#### 生体恒常性維持機構解析モデル

- マウス** *α*-Klotho KO/Jcl

- マウス** *klotho*/Jcl

#### アレルギーモデル

- マウス** OVA-IgE/Jcl (卵アレルギー)  
TNP-IgE/Jcl (化学物質アレルギー)

### ● Germ free

- マウス** MCH(ICR)/Jcl [Gf], C57BL/6Njcl [Gf]  
BALB/cAjcl [Gf]

### ● コモンマーモセット

- Jcl:C.Marmoset(Jic) (国内生産)

## その他の取り扱い動物

### ● (公財) 実験動物中央研究所維持系統

### ● フェレット (輸入販売)

生産地：中華人民共和国／輸入販売代理店  
(株)野村事務所を通じて国内販売

## 実験動物用飼料

一般動物用飼料／家畜・家禽試験用飼料／放射線減菌飼料／特殊配合飼料／成分分析

## 器具・器材

飼育ケージ／飼育機・ラック／自動飼育システム／クリーンエアシステム／バイオハザード対策システム／空調設備・排水処理システム／管理・実験機器／施設計画コンサルティング

## 受託業務

微生物学的クリーニング／遺伝子改変マウスの作製／モノクローナル抗体作製／受精卵採取・凍結処理／凍結受精卵の供給／系統維持及び生産／各種処置動物作出／マイクロバイオーム研究のサポート(無菌動物・ノトバイオームマウス作製および受託試験)／各種受託試験 他

## 関連業務

動物輸出入／微生物モニタリング／遺伝モニタリング／各種データ／情報サービス

## 業務提携

Physiogenex社(仏)：代謝性疾患領域に特化した薬効薬理試験受託サービス  
(株)ジーピーシー研究所：イメージングマウスの作製サービス

\* This substrain is at least (a number>20 by definition) generations removed from the originating JAX® Mice strain and has NOT been re-infused with pedigreed stock from The Jackson Laboratory.®



www.CLEA-Japan.com

東京A D部	〒153-8533 東京都目黒区東山1-2-7	TEL.03-5704-7050(代)
大阪A D部	〒564-0053 大阪府吹田市江の木町6-5	TEL.06-4861-7101(代)
【動物・飼料のご注文先: AD受注センター TEL.03-5704-7123】		
東京器材部	〒153-8533 東京都目黒区東山1-2-7	TEL.03-5704-7600(代)
大阪器材部	〒564-9953 大阪府吹田市江の木町6-5	TEL.06-4861-7105(代)
札幌出張所	〒063-0849 札幌市西区八軒九条西10-4-28	TEL.011-631-2725(代)
仙台出張所	〒983-0014 仙台市宮城野区高砂1丁目30-24	TEL.022-352-4417(代)

## 医薬品開発をトータルにサポート

基礎検討試験

前臨床試験

臨床試験

薬物動態試験

### - High Quality -

高品質なデータの提供

### - Globalization -

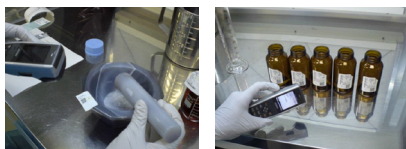
グローバルな事業展開

### - Prompt Response -

迅速なサービスの提供

## 充実した支援体制

- AAALAC International (国際実験動物ケア評価認証協会) 認証
- FDA IND/NDA電子化申請対応 (CDISC SEND)
- バーコードによるミス防止システム
- 世界中どこからでも閲覧可能



Leica Aperio AT2



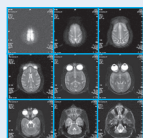
カニクイザル眼球HE染色

## 最新機種の導入

- MRI



Siemens Allegra 3.0T



カニクイザル  
頭部  
(T2WI)

- デジタルPCR



QX200 AutoDG

- 超高感度  
イムノアッセイ



SMC×PRO

お問い合わせ先

株式会社新日本科学

<https://www.snbl.co.jp/>

Email: info@snbl.co.jp

TEL: 03-5565-6140





ケー・イー・シーでは医薬品の研究・開発にお使いいただける細胞・ヒト由来試料を取扱っております

研究用試薬

## ▶ HepaRG®・初代肝細胞



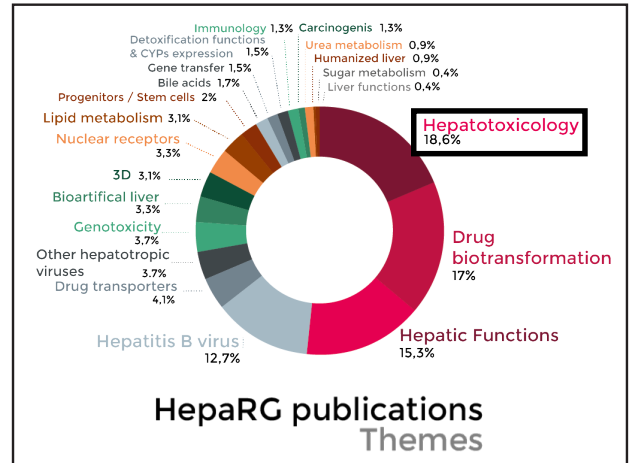
HepaRG®は、BIOPREDIC International社がライセンスを保有するヒト肝細胞セルラインです。肝細胞様形態を呈し、各種肝機能を保持・発現しており、ヒト初代肝細胞の代替ツールとして毒性試験および薬物動態などに広く利用されています。

【HepaRG®は様々な毒性評価に使用可能！】

- ①ミトコンドリア毒性の評価
- ②反応性代謝物による肝毒性評価
- ③炭水化物および脂質代謝評価
- ④胆汁うっ滞の評価

■ HepaRG®を使用した論文が多数発表されている中、毒性試験で多く使用されています！

また、弊社ではBIOPREDIC International社をはじめとして、様々なメーカーで調製された品質の良い初代肝細胞（ヒト、ラット、イヌ、サル等）もご用意しております。



## ▶ ECACC標準株細胞

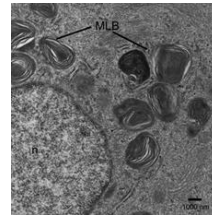
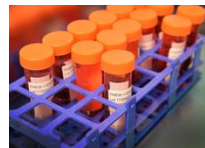


欧州最大の公的セルバンクであるECACCのセルリソース（標準株細胞）を、KAC独自のサービスとともに、**面倒な手続きなし\***でお届けしています。

\*：一部の細胞は、提供にあたり確認審査が必要になります。

【メリット！】

- ①スタンダードな株細胞は国内に常時在庫
- ②プラス5,000円で、培養状態での提供可能
- ③幾つかの起眠が難しい細胞はKACが代行
- ④KACによる迅速な技術サポート体制



## ▶ 肝毒性・腎毒性評価の受託試験



薬物トランスポーター研究のパイオニアであるSOLVO Biotechnology社にて、肝毒性・腎毒性評価試験などのサービスの提供も行っております。

【試験例】

- ①代謝が遅い化合物の肝毒性評価（ヒト、サル、ラット、イヌ）  
（HepatoPac®：初代肝細胞と間質細胞のマイクロパターン共培養にて評価）
- ②早期腎障害バイオマーカーパネルを用いた腎毒性の可能性の評価 等



<https://www.saibou.jp/>

▶ これらの製品情報を細胞.jpでお調べ頂けます



株式会社 ケーイーシー

<https://www.kacnet.co.jp/>

お問い合わせ先

試薬事業部

TEL:06-6435-9747 FAX:06-6435-9748

e-mail: shiyaku-info@kacnet.co.jp

# SLCの実験動物



## マウス

### ●アウトブリード

Slc: *cd1*

☆ RCS

Slc: ICR

### ●インブリード

DBA/1JmsSlc(コラーゲン薬物誘導関節炎)

BALB/cCrSlc

C57BL/6NcrSlc-C57BL/6JmsSlc

C3H/HeSlc

C3H/HeNSlc

DBA/2CrSlc

NZW/NSlc

A/JmsSlc

AKR/NSlc

NC/NgaSlc(薬物・アレルギー誘導アトピー性皮膚炎)

CBA/NSlc

129x1/SvJmsSlc

### ●B10コンジュニック

C57BL/10SnSlc

B10.A/SgSnSlc

B10.D2/SgSnSlc

B10.S/SgSlc

### ●ハイブリッド

B6D2F1/Slc(Slc:BDf1)

CB6F1/Slc(Slc:CBF1)

CD2F1/Slc(Slc:CDf1)

B6C3F1/Slc(Slc:B6C3F1)

※上記以外の系統については御相談ください。

### ●ヌードマウス(ミュータント系)

BALB/cSlc-*nu*(*Foxn1<sup>nu</sup>*)

KSN/Slc(*Foxn1<sup>nu</sup>*)

### ●疾患モデル

BXSB/MpJmsSlc-*Yaa*(自己免疫疾患)

C3H/HeJmsSlc-*Jpr*(自己免疫疾患-*Fas<sup>lpr</sup>*)

C57BL/6JSlc-*gld*(自己免疫疾患-*Fas<sup>l/gld</sup>*)

C57BL/6JmsSlc-*Jpr*(自己免疫疾患-*Fas<sup>lpr</sup>*)

MRL/MpJmsSlc-*Jpr*(自己免疫疾患-*Fas<sup>lpr</sup>*)

NZB/NSlc(自己免疫疾患)

NZBWf1/Slc(自己免疫疾患)

WB6F1/Ki-*Ki<sup>fl</sup>*/Slc(肥満細胞欠損鼠-*Ki<sup>fl</sup>*)

WB6F1/Ki-*Ki<sup>fl</sup>*/Slc(肥満細胞欠損鼠-*Ki<sup>fl</sup>*)

WB6F1/Ki-*Ki<sup>fl</sup>*/Slc(肥満細胞欠損鼠-*Ki<sup>fl</sup>*)

NG/Nga(皮膚炎)

☆ Hos: HR-1(ヘアレスマウス)

☆ Hos: HRM-2(メラニン保有ヘアレスマウス)

★ SAMR1/TaSlc(非胸腺リンパ腫-SAM系対照動物)

★ SAMP1/SkuSlc(老化アミロイド症)

★ SAMP6/TaSlc(老年性骨粗鬆症)

★ SAMP8/TaSlc(学習・記憶障害)

★ SAMP10/TaSlc(脳萎縮を伴う学習・記憶障害)

AKITA/Slc(糖尿病)

☆ TSOD(2型糖尿病)

C57BL/6JHamSlc-*ob/ob*(肥満・2型糖尿病-*Lep<sup>ob</sup>*)

C57LKS/*Jlcr-+Lep<sup>ob</sup>*/+*Lep<sup>ob</sup>*(肥満・2型糖尿病-*Lep<sup>ob</sup>*)

☆ NSY/Hos(2型糖尿病)

C57BL/6JHamSlc-A/+ (肥満)

HIGA/NscSlc(1gA腎症)

C.KOR/StmSlc-Apoe<sup>0/0</sup>(アポE欠損高脂血症-Apoe<sup>0/0</sup>)

C.KOR/StmSlc-Tra3ip2<sup>0/0</sup>(アトピー性皮膚炎マウス-Tra3ip2<sup>0/0</sup>)

## ラット

### ●アウトブリード

Slc: SD

Slc: Wistar

Slc: Wistar/ST

Hos: Dorenyu

☆ lar: Wistar(Wistar-Imamichi)

☆ lar: Long-Evans

☆ lar: Copenhagen(前立腺癌罹患種)

### ●インブリード

F344/NSlc

WKAH/HkmSlc

BN/SsNSlc

DA/Slc(薬物誘導性関節炎)

LEW/SsNSlc(薬物誘導性関節炎)

### ●疾患モデル

★ SHR/Izm(高血圧)

★ SHRSP/Izm(脳卒中)

★ WKY/Izm(SHR/Izmのコントロール)

★ SHRSP/Dmcr(NASHモデル【HFC飼料給餌】)

★ SHR/NDmcr-*cp/cp*(肥満・糖尿・高血圧-*Lep<sup>ob</sup>*)

★ SHRSP/Ezo(AD/HD)

★ SHRSP/IDmcr-*fa/fa*(肥満・高血圧・脳血管障害-*Lep<sup>ob</sup>*)

DIS/EisSlc(食塩感受性高血圧症)

DIR/EisSlc(食塩抵抗性)

Slc: Zucker-*fa/fa*(肥満-*Lep<sup>ob</sup>*)

☆ Hos: ZFDM-*Lep<sup>ob</sup>*(糖尿・肥満)

HWY/Slc(ヘアレスラット)

☆ Hos: OLETF(2型糖尿病)

☆ Hos: LETO(OLETFのコントロール)

## モルモット

### ●アウトブリード

Slc: Hartley

## ウサギ

### ●アウトブリード

Slc: JW/CSK

Slc: NZW

## ハムスター

### ●アウトブリード

Slc: Syrian

### ●疾患モデル

J2N-k(心筋症モデル)

J2N-n(J2N-kのコントロール)

## スナネズミ

### ●インブリード

MON/Jms/GbsSlc

## 無菌動物(ラット)

### ●ラット

### ●インブリード

F344/NSlc(GF)

## エンヴィーゴ(旧ハランOEM生物動物)

### ●アウトブリードラット

RocHan®: WIST

### ●インブリードマウス

CBA/CaOlaHsd

### ●免疫不全モデルマウス

C.B-17/1crHsd-*Prkdc<sup>scid</sup>*

## 遺伝子改変動物

### ●マウス

C57BL/6-Tg(CAG-EGFP)(グリーンマウス)

C57BL/6JmsSlc-Tg(*gpr delta*)

### ●ヌードマウス

C57BL/6-BALB/c-*nu/nu*-EGFP(EGFP全身発現ヌードマウス)

### ●ラット

SD-Tg(CAG-EGFP)(グリーンラット)

F344/NSlc-Tg(*gpr delta*)

Slc:WistarHanover/Rcc-Tg(*gpr delta*)

## その他(conventional動物)

### ●ビーグル犬

☆ 国内繁殖生産(一財)動物繁殖研究所

### ●カニクイザル

☆ カニクイザル(輸入)

### ●ミニブタ

☆ 国内繁殖生産(一財)日生研・NPO法人医用ミニブタ研究所

## ●マイクロミニビグ

☆ 国内繁殖生産(富士マイクラ(株))

## ●フェレット

自家繁殖生産(中伊豆支所)

★ 印は受託生産動物、☆印は仕入販売動物です。

## 受注生産動物

## マウス

### ●疾患モデル

C3H/HeJmsSlc-*cid*(自己免疫疾患動物-*Fas<sup>cid</sup>*)

C57BL/6 JHamSlc-*bg/bg*(NK細胞活性低下)

CTS/Shi(免疫不全・自内臓)

(NZW×BXSb)F1/Slc(紫斑症)

## ラット

### ●インブリード

AC1/NSlc

### ●疾患モデル

DafHS-Z-*Lep<sup>ob</sup>*/Slc

GK/Slc(2型糖尿病)

EHBR/EisSlc(高ビリルビン尿症)

PVG/SeaSlc

KDP1(型糖尿病-*CtHh*)

WBN/KobSlc(高血糖好発)

WBN/KobSlc-*fa/fa*(高血糖好発-*Lep<sup>ob</sup>*)

NAR/Slc(無アルブミン症)

NER(自発性造血・骨髄性白血病発症)

DA/Slc-*tg/tg*(NK細胞機能低下)

SDR(矮小体症ラット)

OM/NSlc(栄養摂取-腎障害)

FH/HamSlc(脳内でシニク素の機能不全)

F344/NSlc-*Agcp<sup>0/0</sup>*(大腸癌易誘発)

Gunn/Slc-*iji*(高ビリルビン血症)

Slc: WsrC-WsWs(肥満細胞欠損鼠-*Kit<sup>fl</sup>*)

## モルモット

### ●アウトブリード

Hos: Weiser-Maples(メラニン保有)

### ●インブリード

Strain2/Slc

Strain13/Slc

## ウサギ

### ●アウトブリード

Slc: JWF-NIBS(ヘアレス)



日本エス エル シー株式会社  
〒431-1103 静岡県浜松市西区湖東町3371-8  
TEL(053)486-3178(代) FAX(053)486-3156  
<http://www.jslc.co.jp/>

営業専用  
TEL

関東エリア (053)486-3155(代)  
関西エリア (053)486-3157(代)  
九州エリア (0942)41-1656(代)

# 一般社団法人 日本毒性学会

## 【名誉会員】

今道 友則	堀口 俊一	福田 英臣	池田 正之
加藤 隆一	白須 泰彦	黒岩 幸雄	井村 伸正
佐藤 哲男	渡辺 民朗	高橋 道人	榎本 眞
小野寺 威	遠藤 仁	菅野 盛夫	黒川 雄二
鎌滝 哲也	赤堀 文昭	土井 邦雄	長尾 拓
福島 昭治	津田 修治	吉田 武美	堀井 郁夫
大野 泰雄	上野 光一	山添 康	

## 【功労会員】

高仲 正	前川 昭彦	佐藤 温重	安田 峯生
菊池 康基	大沢 基保	今井 清	降矢 強
玄番 宗一	唐木 英明	仮家 公夫	暮部 勝
野村 護	牧 栄二	三森 国敏	佐神 文郎
遠山 千春	小野寺博志	杉本 哲朗	西田 信之
中村 和市	永沼 章	姫野誠一郎	眞鍋 淳

## 【賛助会員】

(五十音順)

### ●ダイヤモンド

(株)新日本科学

### ●プラチナ

第一三共(株)

Charles River

### ●ゴールド

旭化成ファーマ(株)

あすか製薬(株)

アステラス製薬(株)

(株)安評センター

EAファーマ(株)

(株)イナリサーチ

エーザイ(株)

(株)LSIM 安全科学研究所

大塚製薬(株)

小野薬品工業(株)

花王(株)

一般財団法人化学物質評価研究機構

科研製薬(株)

杏林製薬(株)

協和キリン(株)

興和(株)

三栄源エフ・エフ・アイ(株)

サントリー-MONOZUKURI エキスパート(株)

(株)三和化学研究所

塩野義製薬(株)

(株)資生堂

シミックファーマサイエンス(株)

昭和電工(株)

住友化学(株)

(一財)生物科学安全研究所

ゼリア新薬工業(株)

千寿製薬(株)

大正製薬(株)

大日本住友製薬(株)

大鵬薬品工業(株)

武田薬品工業(株)

田辺三菱製薬(株)

中外製薬(株)

帝人ファーマ(株)

(株)DIMS 医学研究所

トーアエイヨー(株)

東レ(株)

(一社)日本化学工業協会

日本香料工業会

日本新薬(株)

ファイザー(株)

富士フィルム(株)

扶桑薬品工業(株)

(株)ボゾリサーチセンター

Meiji Seika ファルマ(株)

持田製薬(株)

(株)薬物安全性試験センター

ライオン(株)

## 【役員】(2020～2021年度)

理事長	菅野 純		
理事	青木 豊彦	上原 孝	小野 敦
	鍛冶 利幸	北嶋 聡	熊谷 嘉人
	古武弥一郎	児玉 晃孝	小林 章男
	佐藤 雅彦	鈴木 睦	高橋 祐次
	角崎 英志	苗代 一郎	平林 容子
	藤原 泰之	宮脇 出	森 和彦
	吉成 浩一		
監事	天野 幸紀		
	務台 衛		

## 【学術年会長】

第47回 (2020年) 広瀬 明彦  
 第48回 (2021年) 福井 英夫  
 第49回 (2022年) 石塚真由美  
 第50回 (2023年) 北嶋 聡

## 【委員会】(2020～2021年度)

●印：常置委員会 ◆印：小委員会

●総務委員会	委員長	高橋 祐次
◆連携小委員会	委員長	北嶋 聡
◆評議員選考小委員会	委員長	佐藤 雅彦
◆名誉会員および功労会員選考委員会	委員長	高橋 祐次
◆指針値検討小委員会	委員長	広瀬 明彦
◆企画戦略小委員会	委員長	宮脇 出

●財務委員会	委員長	青木 豊彦
	副委員長	森 和彦

●編集委員会	委員長	鍛冶 利幸
	副委員長	古武弥一郎
◆JTS編集委員会	委員長	鍛冶 利幸
	副委員長	古武弥一郎
◆FTS編集委員会	委員長	永沼 章
◆Executive Editor 小委員会	委員長	小沼 章
◆田邊賞選考小委員会	委員長	諫田 泰成

●教育委員会	委員長	鈴木 睦
◆生涯教育小委員会	委員長	鈴木 睦
◆基礎講習会小委員会	委員長	橋本 清弘
◆認定試験小委員会	委員長	福島 民雄
	アドバイザー	古川 賢

●学術広報委員会	委員長	児玉 晃孝
◆学会賞等選考小委員会	委員長	堀井 郁夫
◆佐藤哲男賞選考小委員会	委員長	熊谷 嘉人
◆特別賞等選考小委員会	委員長	熊谷 嘉人
◆技術賞選考小委員会	委員長	宮脇 出
◆日化協 LRI 賞選考小委員会	委員長	北嶋 聡
◆学術小委員会	委員長	石塚真由美
◆広報小委員会・HP 担当	委員長	児玉 晃孝

## ★その他関連の委員会

○ IUTOX 担当	
IUTOX Executive Committee, Director	熊谷 嘉人
IUTOX Nominating Committee, Chair	菅野 純
○ ASIATOX 担当	
ASIATOX Council	小椋 康光
○ 日本学術会議担当	
委員	石塚真由美

2021年2月1日 印刷

2021年2月1日 発行

発行人 菅野 純

編集人 鍛冶利 幸

発行所 一般社団法人日本毒性学会

学会事務局 〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1

パレスサイドビル

(株)毎日学術フォーラム

一般社団法人日本毒性学会事務局

TEL (03) 6267-4550 FAX (03) 6267-4555

E-mail : [jsothq@jsot.jp](mailto:jsothq@jsot.jp)

振替 00150-9-426831

<http://www.jsot.jp>

印刷所 株式会社仙台共同印刷

〒983-0035 仙台市宮城野区日の出町二丁目4-2

TEL (022) 236-7161